

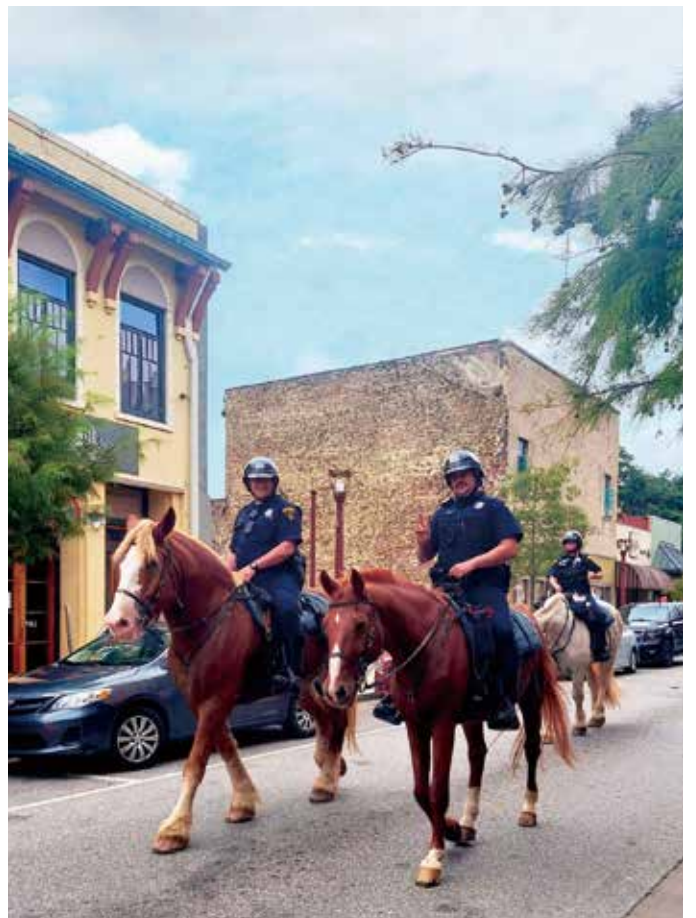
国際交流協会ニュース

—Ichihara International Association—

2021年11月16日 発行 市原市国際交流協会
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 市原市役所 人権・国際課内
TEL 0436-23-9826 FAX 0436-21-0332
e-mail: iaa@city.ichihara.lg.jp
ホームページアドレス <https://iaa-ichihara.org/>



2021年サマースクール



モバイル市街警備の騎馬警官



コロナ禍のモバイル市街

- 第11回サマースクール開催
- ふれあいサロン部会「Amigoの会」の紹介
- オリンピック選手受入の通訳のお手伝い！
- わたしのふるさと「台湾」
- I.I.A.レポート活動報告
- モバイルの風 その1



第11回サマースクール開催



2021.8.10

東京オリンピック閉会式の2日後、8月10日(火)市原市青少年会館でサマースクールが開催されました。

サマースクールは、市内在住の日本語を母語としない小中学生を対象として、夏休みの宿題と学科の問題を解決するための学習会です。今回も昨年に続き、「新型コロナウイルス感染防止対策」の為、開催が懸念されましたが、フィジカルデイスタンスの確保、マスクの着用、換気の徹底、体温の測定等の規制を遵守しな

ら開催されました。生徒は、Aクラス(小学1~3年生)7名、Bクラス(小学4~6年生)3名、Cクラス(中学生以上)3名、合計13名が参加しました。また、ボランティアの皆さんも多数参加していただき、生徒との対面指導をしていただきました。

生徒13名、ボランティア13名、実行委員7名が一堂に会し、山崎会長の挨拶を皮切りに、ボリビア、ブラジル、ペルー、中国、アメリカ、ネパール、フィリピン

を母国とする生徒たちがクラス毎に、それぞれ決められた部屋、席に分かれ、家から持ってきた夏休みの宿題やドリルの勉強に入りました。勉強の内容は、本人の希望やお母さんの依頼を受けて、経験豊富な先生が基礎から教えてくださいました。

9:25~11:45の2時間20分の間、ボランティアが生徒との1対1の対応ができ、中身の濃い勉強ができたようで満足の笑顔がありました。



小学生1,2,3年生のクラス (学習室)



中学生以上のクラス (学習室)

ふれあいサロン部会「Amigoの会」の紹介

部長 田中 幹雄

Amigoって何でしょうか?よくある言葉なので、みなさん知っているかもしれませんね。辞書で調べてみると「アミーゴ(amigo)」とは、「男性の友人や仲間」を示すスペイン語とあります。「女性の友人や仲間」を示す場合は「アミーガ(amiga)」となっています。また、日本語の訳は「友人、仲間、友達など」広い意味があります。また、「こんにちわ!」の意味で使うこともあるそうです。ポルトガル語でも「友人」は「アミーゴ」です。Amigoの会といっても、男女を意識したわけではなく、スペイン語に卓越した、川崎明裕(元部会長)さんが、命名したものです。

さて、Amigoの会は、外国人児童生徒

の為の学習教室という名称で、五井公民館で、原則、月に4回、土曜日の午前中(9時~12時)に実施しています。本来は、外国人の中学生・小学生を対象に学校の教科を中心に、個別に学習支援を行っています。昨年の新型コロナウイルスの緊急事態宣言で、公民館も閉鎖となりました。要望の強かった生徒には、Zoomで個別指導をしたりしていました。公民館再開後は、一時的に小学生の高学年以上の生徒を対象とさせていただきましたが、現在は生徒の人数も少なくなっており平常に戻し、感染予防を徹底し進めています。一方、中学三年生や、Amigoの会で学習して進学した高校生や、高校卒業をした専門学校生などの学

習支援も行っています。又、一昨年までは、若葉中の先生がボランティアで指導に来ていただくこともありました。

年に数回、クリスマス会やひな祭りに合わせて、小さなイベントも行う計画です。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら判断していきたいと思っております。昨年度末と最近の学習風景です。お気軽にご参加下さい。





オリンピック選手受入の通訳のお手伝い!

おがわ かおり
小川 香織



オリンピック、パラリンピックも終わり、あっという間に秋らしい季節になりましたね。実は市原市でもオリンピック選手団の受け入れをしていたことを、みなさんはご存知でしょうか？

市原市が受け入れていたのはオーストラリアとイスラエルの選手団。それぞれ試合が始まるまでの1週間程度、日本の気候の中で練習を重ねながら体を慣らして整えるそうです。それに伴い通訳が必要となり、数日間お手伝いをしてきました。

今年はコロナ禍で市民との交流もできず色々な状況も重なり、選手団の方々はホテルと練習以外は外も行き来が出来なかったそうですが、そんな中でも楽しんでいただようでした。また最終日には、市原市役所の方

達が「少しでも市原や日本文化を感じてもらえるように」と日本文化体験を準備。小湊鐵道をはじめとした市原の景色や日本文化を写真で見せながら、浴衣や扇子を手にとってもらい、選手の方達も初めての体験にとっても嬉しそうでした。



イスラエル陸上選手団 (第一陣)

私も通訳として微力ながらお手伝いできたこと、市民として海外の方に市原市をお伝えできたことは貴重な体験で、とても良い時間となりました。

市内にも5000人以上の外国人の方が住んでいます。現在はコロナ禍でなかなか交流できませんが、落ち着いたらまた、機会を作れたらと思います。

わたしのふるさと「台湾」



みうら あけみ
三浦 明珠



台湾(正式国名は中華民国)、私の故郷、東アジアに亜州大陸と太平洋の間にある小さな島国です。島に住んでいる人は原住民のたかさご族。時の流れで中国大陸から来た人たちは本省人と呼ばれ、蒋介石の中華民国政府と一緒に台湾に移された人たちは外省人と呼ばれました。

50年間日本が統治した時期があり、日本人もいます。私は本省人です。高祖父の時代から、現在の場所、新北市新店区に住んでいます。当時は長屋で大きな広場の周りに62間の部屋が繋がっていて、その外周は畑や田んぼだらけ。一族は、約20世帯100人ちょっとの大家族でした。

基本は、農業生活ですが各種職業もあります。幼いころ、放課後広場で遊

んだことが楽しく思い出されます。休日は家事を手伝いお父さんと畑に行く、お母さんと市場に行き野菜やお餅を売ります。たまに年長のいとこが私達をあちこち遊びに連れて行ってくれました。

もうひとつ有名な事は食文化です。「朝食の屋台」や「夜市」は非常に便利です。人を満腹にさせ日々新しいアイデア商品を開発。観光事業に莫大な貢献になりました。

2020年、中国武漢で肺炎が発生して世界中に蔓延した。台湾は防疫措置を早く打ち出し最小限に止めました。更に世界各国に防疫用品を無償で送り、この行動で台湾は称賛されました。台湾は自慢の故郷です。

私は23年前に日本にきました。日本の様々な事に感心しました。清潔な街並み、良好な秩序など、でも台湾と似ていることはいっぱいあります。それは日本政府が台湾統治時代に残した遺産です。台湾と日本は仲がいい、すごく嬉しい。日本も私のもう一つの自慢の故郷です。



I.I.A.レポート

かつ どう ほう こく 活動報告

ねん がつ がつ 2021年4月～9月

ことしかみはん き いちはらし こくさいこうりゅうかい かつ
今年上半期の市原市国際交流協会の活
動は、コロナ禍に大きく制約されたもの
となりました。5月に行われた総会是对

めん おこな ぼしょ ちくぜん へんこう
面で行いましたが、場所が直前で変更に
なり、人数も制限されたものとなりまし
た。6月に開催された講演会は、五井公
民館での対面と、ZOOMを使ったりモー
トの二元開催となりました。8月開催の
サマースクールもやはり直前で会場が変
更になり、参加者も制約を受けました。

10月の上総国府祭りは中止、11月のモ
ビール青少年訪問団の来日も中止とな
り、訪問団を迎えて開催予定の国際交流

パーティーも中止となってしまいました。
モバイル訪問団の来日は来夏に実施する
こととなっています。

10月になり、緊急事態宣言が解除され
ましたが、やはりバス旅行などの集団行
動は慎まねばなりません。下半期の活動
イベントはそれほど残っていませんが、
制約を受けながら、出来る限りの活動を
続けて行く予定です。

モビールの風 その1

ウエスト真琴

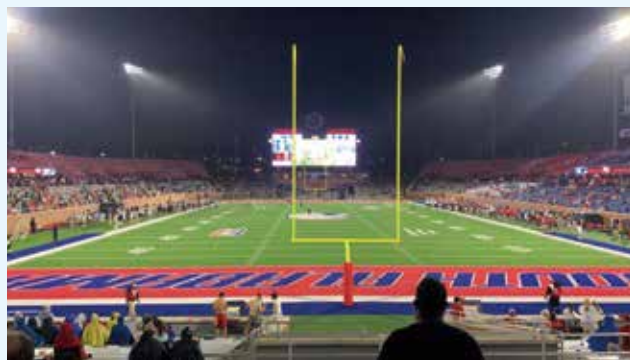


はじめまして。ウエスト真琴と申します。私は市原市出身で、市原市の小学校、中学校にて
英語の教師をしていたアメリカ人の主人と出会い、2009年に渡米し、現在、市原市と姉妹都
市であるアメリカ南部のアラバマ州モビール市に住んでいます。モビール市の情報やこちらで
の日々の生活などをお届けしていきたいと思えます。

9月に入ってから、日中はまだ気温が上がりますが、夏
の日差しとは違い、湿度がなく過ごしやすい季節になっ
てきました。秋になるとアメリカではフットボールのシーズ
ンになります。プロフェッショナルチームと大学チームが
ほぼ同時期に始まり、たくさんの人が観戦を楽しみます。
こちらでは特に大学チームの観戦を楽しむ方が多く、たく
さんの大学にフットボールチームがあり、地元の大学の
チームや、出身大学のチームを応援します。試合は毎週土
曜日に行われ、たくさんの人達が家族や友人達と集まって
テレビで観戦したり、外でBBQをしながら観戦を楽しみ
ます。試合をスタジアムまで見に行ったりとても盛り上が
ります。

こちらのモビール市にはサウスアラバマ大学があり、
2009年にフットボールのチームが設けられました。まだ
新しいチームではありますが、2020年9月に大学敷地内
に25450席あるハンコック・ホイットニー・スタジアムが
オープンしました。新型コロナウイルスにより入場制限がありま
すが、試合になるとたくさんの観客達が訪れ、サウスアラバ
マチーム、対戦チームを応援します。

まだまだ世界中で新型コロナウイルスの収束に時間がかかってい
ます。こちらではイベント等、レストランなどでの時間、
飲酒などの制限はないですが、学校ではマスク着用を義務
づけられています。モビール市のダウンタウンのランチ時
間にあると、外で食事する方やオフィスから出て散
歩する方も多くみられます。



偶然にも馬に乗った警察官の姿を見ることができました
(写真はP1)。今はコロナ渦の中、積極的に外に出かけると
いうのも、あまり出来ない状況ではありますが、早く収束
に向かって子供達、学生、大人が安心して過ごせる日が来
るように願うばかりです。